

# フィナステリド1mg錠服用ガイド

## 成分・分量

1錠中にフィナステリド(Finasteride)として1mg含有

## 適応症

男性型脱毛症

## フィナステリドの先発品は？

フィナステリドの先発品は、MSD株式会社によって製造・販売されているプロペシア錠です。

もともとは男性の前立腺肥大症の治療薬として開発され、その安全性と強力な発毛効果があらわれることがわかり、男性型脱毛症として発売されることになりました。

1997年に1日1mgの用量で男性型脱毛症の治療薬として、米国食品医薬品局(FDA)の承認を受け、現在に至るまで海外60カ国以上で承認されています。

## 効能・効果

薄毛や抜け毛の症状は男性ホルモンが原因で起こります。男性ホルモンのテストステロンは、体内で5 $\alpha$ -還元酵素II型といわれる酵素によってより強力な男性ホルモン作用をもつジヒドロテストステロン(DHT)に変換します。

このDHTが増えることで、薄毛や抜け毛が起こり男性型脱毛症(AGA)の症状が進行します。

AGAは進行性であり、DHTが増えるのを放っておくと薄毛や抜け毛の症状がより進行してしまいます。

有効成分フィナステリドは、男性ホルモンのテストステロンをDHTへと変換する酵素(5 $\alpha$ -還元酵素II型)の働きを阻害し、DHTが増えるのを抑制することができます。

1日1回服用することでDHTによる薄毛・抜け毛を減らし、AGAの進行を抑え、発毛効果をもたらします。

フィナステリド1mgの服用を5年間続けて服用することで、90%の患者で抜け毛の進行を抑える効果、あるいは改善効果が認められています。

## 用法用量

通常、男性成人にはフィナステリドとして1日1回0.2mgを服用してください。

必要に応じて適宜増減できますが、最大1日1mgが上限です。食事の影響を受けないので、食前、食後いつでも服用

できます。忘れずに服用するには毎日決まった時間帯に服用するのがおススメです。

1日1回0.2mgの服用は日本で承認されているフィナステリドの用法であり、海外では一般的に初回から1回1mgの服用が推奨されています。

1mgのまま服用する際は症状を確認して注意しながら服用してください。

## フィナステリドの飲み忘れに気付いたら？

飲み忘れに気付いたら、その時にすぐにフィナステリドを1回分服用してください。

決して2回分を服用しないようにしてください。

## 治療期間と期待される効果の目安

6カ月以上継続して使用することで、効果を実感することができます。

### ●開始～3カ月

- 抜け毛の減少
- 生え際にうぶ毛が目立つ

### ●3カ月～6カ月

- うぶ毛が太くなり、伸びる
- 薄毛が目立たなくなり始める

### ●6カ月～1年

- 明らかな抜け毛の減少
- 後退していた生え際の前進
- 毛髪のボリュームがアップ
- 4人に1人が明らかな効果を実感

## 禁忌

- 含有する成分に対し過敏症を起こしたことがある方。
- 妊婦または妊娠している可能性のある婦人および授乳中の婦人。

## 主な併用禁忌薬 販売名一覧表

ありません

## 慎重に服用する必要がある方

肝機能障害のある方。(フィナステリドは主に肝臓で代謝されますが、肝機能障害のある方が服用した場合の安全性は確認されていません)

## ●高齢者の方の服用

高齢者の方も問題なく服用できます。

高齢者と非高齢者を比較した臨床試験では、副作用の発現率に明らかな差は認められませんでした。

しかし、一般に高齢者の方は生理機能が低下していることが多いので、注意してください。

## ●妊婦・産婦・授乳婦の服用

フィナステリドの服用は、女性を対象とはしていないので服用することができません。

とくに妊娠中の女性がフィナステリドを服用したり、破損したフィナステリド錠に触れて有効成分が体内に吸収されたりすると、男性胎児の生殖器官等の正常発育に影響を及ぼすおそれがあります。

## ●小児等の服用

男性型脱毛症は思春期以降に発現する症状です。

18歳未満の患者を対象にしたフィナステリドの臨床試験は、日本においても海外においても実施されていません。

身体の成長が十分でない未成年の方がフィナステリドを服用してしまうと、健やかな成長を阻害してしまうおそれがあるので、20歳未満の方はフィナステリドを服用しないようにしてください。

## 主な副作用

軽度の副作用が報告されていますが、ほとんどの方は安全にフィナステリドを服用することができます。

日本で行われたフィナステリドの臨床試験では、4.0% (276例中11例)の方に副作用が報告されました。(試験期間1年)

主な副作用として、リビドー減退1.1% (3例)、勃起機能不全0.7% (2例)等です。

市販後の使用成績調査ではより副作用が起こる頻度は低く、リビドー減退は0.2%、勃起機能不全は1%未満と報告されています。

起こることは稀ですが、全身倦怠感等の肝機能障害があらわれることもあります。

服用してなにか気になる症状があれば速やかに医師・薬剤師に相談するようにしてください。

## 錠剤を割る際の注意点

フィナステリドは、中身の有効成分に女性が触れたりしないよう、できるだけ錠剤を割らないで服用することが推奨されています。

しかし、フィナステリドは症状にあわせて服用量を調節する必要があり、場合によっては錠剤を分割して服用することもあります。

錠剤はコーティングがされているので、通常の扱いにおいては女性が有効成分に触れることはありません。

もし錠剤を割って服用する際は、女性の方が触れないように注意してください。

## 前立腺がんの検診を受ける方の注意点

前立腺がんの検診を受ける予定のある方は、検診を実施する医師にフィナステリドを服用していることを伝えてください。

フィナステリドは、前立腺がんの検査で測定される検査値PSA値を約50%に低下させることがわかっています。本来は前立腺がんの方がフィナステリドを服用することで、前立腺がんの発見が遅れるおそれがあります。

## 献血について

フィナステリドを服用している方は、献血をすることができません。

献血時に記入する問診票にもフィナステリドの服用の有無を確認する項目があり、赤十字血液センターの献血できない薬の項目にフィナステリドは入っています。

フィナステリドの服用をやめてから1ヵ月は献血することができませんので、よく献血に行かれる方や会社の取り組みで献血を受ける際は注意してください。

## 効果を最大化するために

3ヵ月連日服用で効果があらわれることもあります。効果が確認できるまで通常6ヵ月の連日服用が必要です。服用をやめると再び脱毛症が進行してしまうので、継続して服用するようにしてください。

体質によっては、フィナステリド単体の服用では脱毛症の進行抑制効果だけで増毛効果が得られない方もいます。そのような方は、頭皮につけるタイプの育毛剤・発毛剤(ミノキシジル塗布剤等)と併用することで相乗効果が期待できるので、一緒に使用することが推奨されています。

## 使用する前に注意すること

安全に服用していただくため、下記に該当する方はフィナステリドの服用が可能かどうか医師・薬剤師に相談してください。

- 今まで薬や化粧品などによりアレルギー症状を起こしたことがある方。
- 継続している薬・サプリメント・健康食品がある方。
- 肝機能障害のある方。
- 高齢者(65歳以上)の方。
- 前立腺肥大症、前立腺がんのある方。